

にこにこ情報

竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525(にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>

メール info@ryokujukai.or.jp



(写真:緑樹苑内撮影)



飛行日誌

十月十二日から十四日まで、韓国の平沢(ピョンテク)市を訪問しました。目的は、平沢市国際交流財団主催の国際フェスティバルに、姉妹関係にある沖縄市国際交流協会が招待されたことから、エイサー演舞を行うことになり、その一員として同行しました。エイサー隊七名は歓迎を受けてエイサーを披露し、文化交流ができました。

韓国の平沢市は、ソウルの南側八十キロ、仁川(インチョン)空港から高速道路で約二時間の所にあり、貿易港や軍港、有名企業のサムスン電子、LG電子や自動車メーカーの工場が数多く立ち並ぶ産業都市で、日本のメーカーや提携企業の工場も多く、出張で訪れる日本のビジネスマンも多いそうです。また、農業と漁業の盛んな地方都市でもあり、広々とした肥えた平野は豊かな自然環境にも恵まれ、伝統的な穀倉地帯としてよく知られています。緯度的には栃木県と同じぐらいの位置にあり、私が行った十月十二日から十四日は最高気温が十八度、最低気温が五度と、朝方は吐く息も白くひんやりしていましたが、風もなく晴れているのどかな日差しの中で、寒いというほどではありませんでした。

韓国平沢市には、米陸軍の海外駐屯地の中で最大と言われるハンフリーズ基地があります。基地内の人口は嘉手納基地よりも多く、それだけで一つの都市とも言われています。今回のフェスティバルにも基地関係者と思われるアメリカ人らしい家族連れをよく見かけました。

フェスティバルに出演した、韓国の国指定重要無形文化財で朝鮮半島に古くから伝わる伝統芸能であり農作物の豊穰祈願やお祝いをする『平澤農楽』は、十一月二十四日に開催される沖縄市国際カーニバルにも、去年に続いて今年も出演するそうです。すばらしい伝統芸能ですのでぜひご覧ください。

韓国は、沖縄からは飛行機で二時間で行ける近隣国です。これからも更なる文化交流をとおして、お互いを理解し、信頼関係を構築できたらと思います。(緑樹苑施設長 兼城正彦)

介護老人福祉施設緑樹苑 敬老会



9月17日(月)の敬老の日にあわせて、介護老人福祉施設緑樹苑では「敬老会」が開催され、面会に訪れた利用者家族、施設職員も一緒に、利用者の皆さんの長寿を祝った。

兼城正彦施設長による、「王府おもろ『あおりやへがふし』」で幕開けし、会場は賑やかな雰囲気にも包まれた。

会では、百歳以上の方の紹介が行われ、兼城施設長より「これからも健康で長生きしてください」とお祝いの言葉とともに、表彰状が贈られた。また、「カジマヤー」「トーカチ」「生年祝い」を迎えられた5名の方々も紹介された。

職員による余興では、琉球舞踊やコミカルなパフォーマンスも披露され、敬老会に華を添えた。

利用者の皆さんは、互いの健康を願いながら、会話も楽しみ、美味しいおやつを食べながら、終始笑みを浮かべていた。

(松田聡子)



ケアハウスていんさぐめ花 敬老会



9月15日(土)、ケアハウスていんさぐめ花では敬老会が開催され、利用者の皆さんとその家族も参加した。

幕開けは、職員による演舞で、祝いの席には欠かせない「かぎやで風」が披露され、会場はお祝いムードでいっぱいとなった。

桃原賢治施設長は「健康にご留意なさり、楽しい施設生活を過ごされて下さい」と、お祝いの挨拶を述べた。

余興では、みどり学童クラブのダンスが披露された。子ども達による可愛いダンスに、利用者の皆さんは目を輝かせ、拍手しながら笑顔で観賞していた。



また、みどり学童クラブの子ども達から利用者の皆さん一人一人に、手作りのメダルが贈られ、利用者の皆さんは「ありがとうね」と喜んで子ども達と握手をしていた。

最後は全員でカチャーシーを踊り楽しいお祝いのひと時を過ごした。(小渡修)



秋の大運動会



ケアハウスはいびすかす

10月10日(水)、ケアハウスはいびすかすでは、運動会が開催された。

開会の選手宣誓を利用者の照屋林孝さん、立津育子さんが、「正々堂々と競技すること、誓います」と力強く宣誓し、運動会がスタートした。

運動会の始まりの歌を全員で合唱し、続いてラジオ体操が行われた。競技では玉入れが行われ、職員がカゴを持ちながら利用者の列を回り、利用者の皆さんは、制限時間内でたくさん玉を入れようと力いっぱいカゴに向かって投げ込んでいた。

続いて行われたパン食い競争では、紐にぶら下げたパンを一生懸命にくわえようとする姿に、応援する利用者からは、大きな声援と笑い声があがった。そのほか行われたボール投げや、職員による二人三脚などでも会場は大いに盛り上がりを見せた。

白組・紅組に分かれての運動会の勝敗は、去年に続いて紅組が勝利を飾った。運動会の最後は、参加者全員でカチャカチャを踊り、運動会は終了した。(屋嘉比雄太)



ケアハウステいんさぐぬ花

10月10日(水)、ケアハウステいんさぐぬ花の運動会が開催され、参加した利用者や職員の意気込みで、会場は溢れるほどの活気に満ちていた。はじめに、桃原施設長から挨拶があり「紅組・白組の皆さん、楽しく笑顔で頑

張っていきましよう」と参加者を激励した。プログラムは、聖火入場、選手宣誓、運動会の歌と続き、玉渡しリレー、玉入れ、ボール渡し、伝言ゲーム等が行われた。中でも、パン食い競争では、皆さんが普段見せない表情や力を発揮し、大いに盛り上がった。また、職員によるイス取りゲームでは、利用者の皆さんも応援に力が入り、会場は笑いに包まれた。



競技の結果、今年も白組の勝利となり、皆さんにメダルが授与された。利用者からは「上出来!」最高に楽しかったですよ!などの声があり、最後は全員でカチャカチャを踊り、あっといふ間の楽しい時間を過ごした。(小渡修)



徳樹苑デイサービスセンター

緑樹苑デイサービスセンターでは、10月8日・9日の二日間に分けて、運動会が行われた。

利用者の皆さんは、紅白のハチマキを額に結び、気合も十分な様子。職員の開会の挨拶で始まり、全員で運動会の歌を合唱した。紅組白組両チームの選手を代表して選手宣誓が行なわれ、力強い宣誓に皆さんから大きな拍手があがった。

最初の種目のパン食い競争では、紐に吊るされたパンを一生懸命、口で追いかけて、中には思わず手で取ろうとする場面も見られ、職員や利用者の皆さんは



大笑いしながら「ありっ!ありっ!ありっ!頑張れえ!」と応援していた。玉入れ競争では、スタートの合図と同時に、職員が引っ張るカゴをめがけて一玉ずつ入れる方や一気に全部投げ入れる方など様々で、多いに盛り上がった。勝ったチームは両手を高々と上げて「やった!勝った!」と笑顔を見せていた。職員による二人三脚競争では、皆さんの声援を背に真剣な表情でパートナー同士の意気合った走りを見せた。二日間にわたって行われた大運動会は大いに沸き、興奮冷めやらぬうちに終了となったが、利用者の皆さんは、早くも来年への意気込みを見せていた。(比嘉樹)



「2018国際福祉機器展」を視察（東京ビッグサイト）

10月10日から12日の3日間、東京ビッグサイトで開催された2018国際福祉機器展を視察してきました。国内外から210社のメーカーが最新の福祉機器や福祉用具を展示。会場には、これらの福祉機器等の最新の動向や情報を求めて、行政関係者、福祉関係者、海外等から多くの参加者が会場を訪れていました。視察した中から、一部を紹介します。

①オムツセンサー

センサーとスマートフォンなどの携帯端末を連動させ、オムツの交換時期を通知する機器。これにより、個人差があるオムツの交換時期を効果的に行うことができます。



②立位補助器

立位が必要な様々な状況、例えばトイレ介助を行う場合にこの機器を使用することで、利用者が立位をキープしたまま、ズボンの上げ下げができていきます。



③口腔ケア用品

緑樹会も口腔ケアに取り組んでいますが、口腔ケアをサポートする一式。口腔ケア用の歯ブラシや、乾燥を予防するためのジェル等。



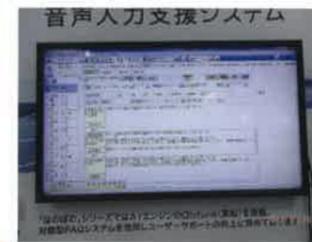
④見回りロボット

夜間時など、ロボットが施設内を見回り、人影を探知すると職員に通知してくれます。また内蔵されているカメラとマイクで、会話することができます。その間に利用者の下に駆けつけることができます。



⑤音声入力システム

福祉の現場では、記録をすることが重要なことですが、職員の記録の負担を軽減するシステムです。これはマイクで話したことがそのまま記録されるもので、キーボードで記録を入力する時間が大幅に削減されます。



⑥ケアカルテシステム

利用者の日々の様子をご家族様の携帯端末に、知らせることができるシステムです。デイサービスや施設での活動の様子を連絡帳ではなく、ご家族様の携帯端末にお知らせができます。



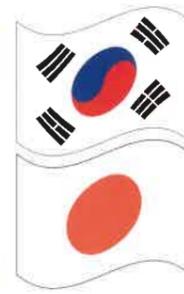
また、腕時計に似た機器を使用することで、バイタル(体温、血圧、酸素濃度等)等を測定することができ、そのままシステムに記録することができます。

国際福祉機器展は一つ一つのブースを回ると、3日間でも足りないくらいですが、今回紹介した以外にも、様々な機器や用具を多く視察することができました。利用者の快適な生活と職員の負担軽減を図る上で大いに収穫がある視察となりました。(與座嘉一郎)

韓国平沢市訪問、国際交流フェスティバルに参加



沖縄市国際交流協会と韓国平沢市国際交流財団は2年前からの交流があり、昨年の沖縄国際フェスティバルには「平沢農楽保存会」の皆さんが参加しています。



平沢市の人口は約40万人。ソウルから南に車で約二時間、距離にして約80キロに位置し、首都ソウルと南部地方を繋ぐ交通の要所です。漁業と農業が加えて、最近では、自動車などの輸出の拠点となる貿易港を擁すると共に、高層マンションなどが建ち並び、発展がめざましい都市です。地名の「平沢」は「全員が平等に豊に生活する」との意味だそうです。

10月13日(土)に行われた「平沢国際フェスティバル」のオープニングでエイサー演舞を披露しました。フェスティバルでは、各国の歌や踊りが披露され、フィナーレでは、平沢農楽保存会と沖縄市国際交流協会エイサー隊との合同演舞でフェスティバルは大いに盛り上がりしました。

平沢市の副市長を交えた晩餐会では、沖縄の古い歌謡である「王府おもろ」を披露し、韓国と沖縄の文化交流もできました。今後の国際的な貢献へつながればと思います。

今回の韓国訪問へご協力して頂いた皆様へ、心から……カムサハムニダ(ありがとう)(宮城憲治)

緑樹会職員 互助会 フードバンク活動 沖縄市社会福祉協議会へ寄贈

緑樹会の職員で構成する互助会では、フードバンク活動に取り組み、集められた食料品や日用品約84.4kgが、9月25日(火)、沖縄市社会福祉協議会に寄贈された。

この取り組みは、緑樹会職員の自主的な地域貢献活動の一環として行われ、呼びかけに賛同した職員から、お米や缶詰などの食料品、洗剤などの日用品が多数集まった。

沖縄市社会福祉協議会の金城和彦事務局長は「フードバンクにご協力いただきありがとうございます。皆さんのチムグリサンの精神を大切に、これからも社会福祉の輪(和)が広がっていくことを期待しています」と感謝の言葉を述べた。互助会の砂川智規会長は「法人としてのみならず、我々職員も地域の一員として、今後も社会貢献活動に取り組んでいきたい」と抱負を述べた。(大嶺涼子)



緑樹会職員から寄せられた食料品や日用品(約84.4kg)が沖縄市社会福祉協議会へ贈られた。

11月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかず	ケアハウスていんさくぬ花	緑樹苑サービスセンター	みどり学童クラブ
1(木)		カラオケクラブ		ハンドマッサージ	
2(金)				手芸クラブ	
3(土)					学童休園日
4(日)					
5(月)		民舞クラブ	利用者11/17が予防接種		
6(火)					
7(水)		ミニシアター			
8(木)	避難訓練	手作りおやつ会	防災訓練	防災訓練	
9(金)		遠遊会		手芸クラブ・三板	
10(土)	福祉施設職員研究大会			手作りおやつ会	園外活動
11(日)					
12(月)		書道クラブ			
13(火)		三板クラブ			
14(水)	遠遊会	防災訓練		カフェタイム	
15(木)		カラオケクラブ・美化活動	誕生会	誕生会	
16(金)		手芸クラブ		手芸クラブ	
17(土)					園外活動
18(日)					
19(月)		お茶会			
20(火)		ミニドライブ	遠遊会		
21(水)		ミニシアター			
22(木)	避難訓練	散髪・民舞クラブ	散髪		
23(金)		誕生会	お茶会	手芸クラブ・三板	学童休園日
24(土)			家族会清掃		園外活動
25(日)					
26(月)		書道クラブ			
27(火)		三板クラブ			
28(水)		防災訓練		防災訓練	
29(木)					
30(金)	誕生会			手芸クラブ	

介護職員募集のお知らせ

緑樹会では介護職員を募集しています。未経験者でも丁寧に指導していきますので、安心して働けます。詳しい内容は下記までお問い合わせください。

また、ハローワークでも詳しい求人情報を掲載しています。

社会福祉法人緑樹会
電話098

930-2525



求人募集
QRコード



緑樹会のホームページから竹とんぼをご覧いただけます。



またはインターネット検索で
緑樹会 竹とんぼ



- (平成三十年九月一日〜九月三十日)
- 〈物品の部〉
有限会社 平田青果店 様
知念文吉 様
- 〈金員の部〉
野底ヨシ子 様
石垣永純 様
花城芙佐乃 様
久場恵子 様
安谷屋百合子 様
石川幸夫 様
積静江 様
金城和彦 様
島田薫 様
八重島自治会 様

感謝録

温かい御支援、御協力下さいました方々に厚く御礼申し上げます。

